

慶応二年正月一日より慶応二年一月二日まで

P8311392left

正月

朔日酉 晴 朝第九時船室暖度八十三度(撰氏二十八度)

東に向て年を拝し役の一同よりも拜年の賀詞を受く、小波あり、麦酒三杯当賀届(さかずき)
紅潮両臉眼花時莫道船中無春事烟外雲山淡画眉、役と共に俳句を年
せり、是一と春□也、

○□□すた浪鋒なり御代の春

○海原の浪も花さく今朝のはる

○舟子らも気□ふやいさの初日の出

○波の音に目醒まし島を明けのはる

○御ふ□も□さ乗合し船の中

○とうとうとうつの漣み□今朝の浪

二日戊 晴

(内は細字双行(二行に小さい文字で二行書き)などの場合です。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。